

【公開文書】

臨床研究

「顎顔面骨骨折の後ろ向き観察研究」について

筑波大学附属病院歯科・口腔外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

1 研究の目的

顎顔面骨骨折の治療において、観血的整復固定術(いわゆる手術)が第一選択になることがほとんどですが、骨折様態によっては非観血的整復固定術(いわゆる保存療法)が選択される場合もあります。手術が選択された方が顎間固定期間も短縮され(もしくは顎間固定や顎間ゴム牽引も行わなくて済む場合もあります)、入院期間も短縮する傾向にあります。そこで、近年の顎顔面骨骨折患者さんの統計を取り、治療の動向を調査し、今後の治療へのfeedbackをすることを目的とします。

2 研究対象者

2015年1月1日から2025年12月31日までの間に当院歯科・口腔外科で治療した顎顔面骨骨折の患者さん。

3 研究期間

倫理審査委員会承認後～2028年3月31日まで。

4 研究の方法

診療記録を用いた後ろ向き研究とし、年齢、性別、受傷原因、骨折部位と様態、治療方法や術式、顎間固定期間、術後併発症・後遺障害、入院期間などについて調査・検討します。

5 試料・情報の項目

年齢、性別、受傷原因、骨折部位と様態、治療方法や術式、顎間固定期間、術後併発症・後遺障害、入院期間など

6 試料・情報の第三者への提供

ありません。

7 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学 臨床医学系 歯科・口腔外科 講師 内田文彦

8 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

9 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院:〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名:歯科・口腔外科 担当 内田文彦 電話:029-853-3870(対応可能時間:平日 9時~17時)